21世紀は暮らす地域を自由に選べる時代です。
しかし移住ともなれば、当人にとっては人生の一大決心が必要です。
仕事は？　生活は？　気候は？　自家用車は？　そして暮らす味わいは？
本誌は小樽への移住と小樽での起業を検討される方に提供する情報誌です。

自然豊かな北海道の中でも、変化する社会と
人々が紡いできた近代史が凝縮され、
歴史遺産も出身地域も時代ごとの価値も、
多様にやさしく包む街、小樽。

小樽

Hokkaido Otaru

さあ「地域と共に生きる」
オルタナティブ・ライフを
小樽で！

移住・起業支援

ハンドブック

金融資料館（旧日本銀行小樽支店）

小樽市 公会堂（旧小樽区公会堂）

旧日本郵船小樽支店

もくじ

ご挨拶 NPO法人小樽民家再生プロジェクト 代表 中野むつみ … 1

小樽移住・起業支援ハンドブック
いざ北海道へ！ いざ小樽へ！ …… 2

小樽概要 …… 3

小樽市移住・起業希望者の小樽体験ツアー … 4

移住に際する届け出 …… 6

移住・起業に際する支援制度 …… 7

小樽生活基本情報
まち育てふれあいトーク …… 12
小樽の自然災害 …… 13
小樽 地産地消歳時記 …… 16
冬の過ごし方（除排雪・服装・自家用車） …… 18
家庭ごみ分別とリサイクル（ごみ有料化とリサイクル）… 20
上下水道（上下水道料金） …… 21
電気料金目安 …… 21
イベント・祭り …… 22
NPO紹介 …… 24

起業をご検討の方へ …… 29

お試し移住 …… 31

先輩移住者メッセージ<古民家再利用者>
鈴木 恵祐 麺処 龍仁 店主 …… 32
杉本 英樹 Hands on Toy's Kinderlie 店長 … 33
小林惠里子 合同会社 健康応援社 代表 … 34
簔谷 修 有限会社 利尻屋みのや 代表取締役 … 35
武田 賢一 たけの寿司 店主 …… 36
稲葉 圭計 PRESS CAFE' オーナー …… 37
小山内和子 Live Cafe & Dining Bar A.LIVE … 38
村岡亜佐美 森閑 店主 …… 39
岡本有美子 vivre sa vie + mi-yyu …… 40
丹 雅弘 小樽キャンドル工房 …… 41
原田 正樹 おたるないバックパッカーズ ホステル杜の樹 … 42
佐藤美智夫 旧青山別邸貴賓館 …… 43

NPO法人 小樽民家再生プロジェクト紹介 … 44

広告・協賛 …… 45

スーベニール小樽館（旧戸出物産小樽支店）

小樽浪漫館（旧百十三銀行小樽支店）

小樽オルゴール堂（旧共成株式会社）

ご挨拶

NPO法人小樽民家再生プロジェクトは札幌５人、小樽５人のメンバーで平成24年に設立され、小樽の古民家を再生させるために起業・移住を推進しています。小樽のまちづくり運動でありながら、札幌メンバーが半数も積極的に参加するほど、小樽の街並みや風情は客観的な魅力があるといってもいいでしょう。

「小樽良いトコ一度はおいで」の通り、現在の小樽は全国区の観光地となり、年間800万人ほどの観光客が訪れています。この観光知名度を基盤に「小樽良いトコいっそ住みな」に進化させたいと考え、「小樽は市民のための小樽ですが、市民だけの小樽ではありません」といった公的なまちづくりを私たちは進めています。

本誌は、小樽への移住や起業を真剣にご検討いただくために、必要と思われる情報編集に力点を置きました。より多くのご興味ある方々にふれていただければと考えております。

NPO法人小樽民家再生プロジェクト
代表　中　野　むつみ

同内容は下記ホームページにも掲載され、移住に関するご相談も随時受け付けています。
NPO法人小樽民家再生プロジェクト[http://www.otaru-minka.org/]

小樽移住・起業支援ハンドブック

いざ北海道へ！

いざ小樽へ！

小樽運河プラザ（元 小樽倉庫）

小樽バイン（旧 北海道銀行本店）

ホテルヴィブラントオタル（旧 北海道拓殖銀行小樽支店）

全国まちづくりの先進地

世界に誇る観光先進地

全国自治体1742のうち、
行きたい街ベスト10
住みたい街ベスト20入

凝縮された近代史で
屋根のない動態博物館都市

歴史的建造物再利用都市

ヒューマンスケールの多様性都市

小樽概要

●所 在 地：北海道小樽市
●位　　置：北緯43°11′27″　東経140°59′40″
●面　　積：243.83㎢
●広 が り：東西36.47km　南北20.39km
●海 岸 線：68.62km(石狩湾新港含む)
●人　　口：121,589人(2016年7月末現在)
●市 の 花：ツツジ(昭和43年5月28日制定)
●市 の 木：シラカンバ(昭和43年5月28日制定)
●市 の 鳥：アオバト(昭和61年5月10日制定)
●姉妹都市：
- ナホトカ市(ロシア連邦)
  昭和41年(1966年)9月12日姉妹都市提携
- ダニーデン市(ニュージーランド)
  昭和55年(1980年)7月25日姉妹都市提携
- ソウル特別市江西区(韓国)
  平成22年(2010年)7月22日姉妹都市提携

●都市宣言
- 交通安全都市宣言(昭和37年3月24日)
- 暴力追放都市宣言(昭和45年7月13日)
- 核兵器廃絶平和都市宣言(昭和57年6月28日)
- 防犯都市宣言(昭和63年10月5日)
- 小樽観光都市宣言(平成20年10月2日)

●市場：9ヶ所　スーパーマーケット：15店
●幼稚園：16ヶ所
●保育所：23ヶ所
●小学校：21校
●中学校：14校
●近隣アクセス：

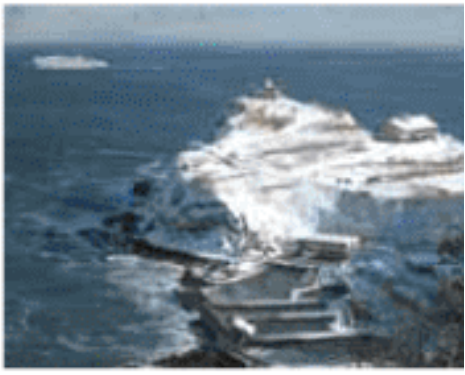
新千歳空港から
・車で70分
・JR快速エアポートで65分

札幌から
・高速道路で30分
・JR快速エアポートで32分

春(花園橋)

夏(小樽マリーナ)

秋(小樽運河)


冬(日和山灯台)

移住・起業希望者の小樽体験ツアー

「幻想的な冬の小樽を体験してみませんか？」

小樽へ移住し、起業をお考えの方を対象に、空き家・空き店舗の視察などを行うツアーを実施します。
冬の北海道生活を体感していただきながら、期間中に小樽を代表する冬のイベント「小樽雪あかりの路」をお楽しみいただけます。ぜひ御参加ください。

開催日 平成29年2月6日(月)～8日(水) **2泊3日**

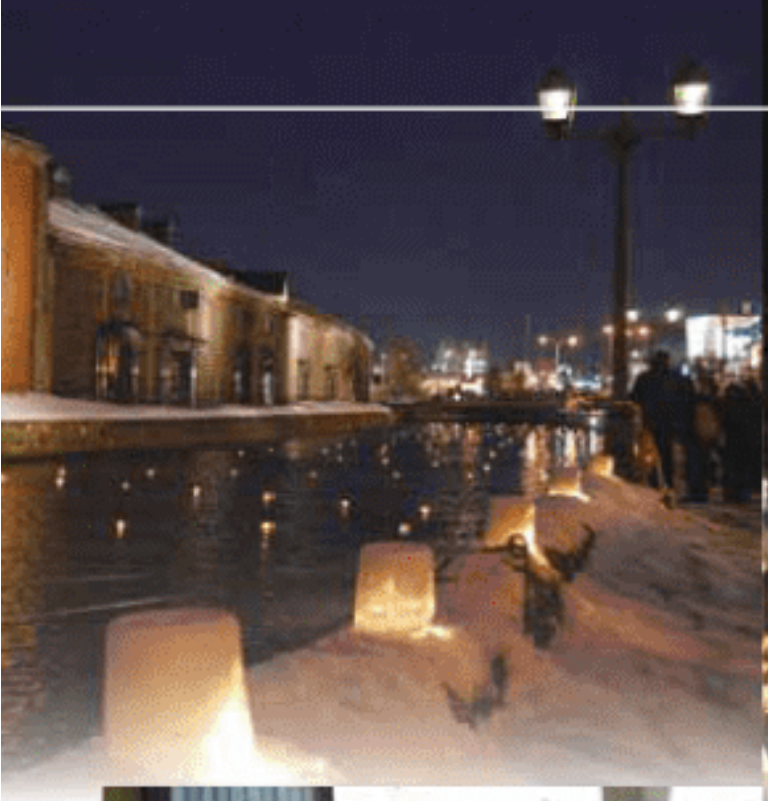
① 参加条件等

- ◆小樽に移住して起業をお考えの方
- ◆小樽市役所まで自己負担で来ることが可能な方
- ◆ツアーで実施する内容すべてに参加できる方

② 費用負担

- ◆期間中の宿泊費及び朝食代はかかりませんが、小樽市役所までの交通費、昼食代、夕食代は自己負担となります。

小樽市役所でのセミナーの様子



再生された歴史的建造物を見学

空き店舗の視察

3 ツアー内容（予定）

⑴空き家・空き店舗の視察

⑵地域の方（既移住者など）との懇談

⑶起業などに関するセミナー

⑷市内の視察

4 募集期間（予定）

平成28年11月～12月中旬（予定）

5 募集定員（予定）

◆8名

※応募多数の場合は選考となります。

問い合わせ

小樽市総務部企画政策室（担当：西尾・五十嵐）

〒047-8660　小樽市花園2丁目12番1号
E-mail：kikaku@city.otaru.lg.jp

電 話：0134-32-4111（内線271）
FAX：0134-22-6727

移住に際する届け出

住居地が変わると様々な届け出が必要です。

小樽市役所の下記の窓口で転入届、住民登録、印鑑登録、パスポート、マイナンバーカード、国民年金、国民健康保険、介護保険、子育て支援などの申請の受付や担当窓口をご案内しています。

また生命保険や医療保険などの保険各種はご契約の保険会社に届け、免許証などの資格証各種はそれぞれの管理団体に届け出が必要です。

※下記にて住民登録などの届け出の受付・各種担当窓口をご案内しています。	
小樽市戸籍係	小樽市花園2丁目12番1号 小樽市役所新館１階
	電話0134-32-4111
小樽市駅前サービスセンター	小樽市稲穂2丁目22番10号 小樽駅前第一ビル1階
	電話0134-22-7535
小樽市銭函サービスセンター	小樽市見晴町３番26号
	電話0134-62-2017
小樽市塩谷サービスセンター	小樽市塩谷１丁目18番７号
	電話0134-26-1500

移住・起業に際する支援制度

■小樽市

□相談窓口□

移住に関する相談			
小樽市総務部企画政策室（移住促進事業担当）		電　話	0134-32-4111（内 271）
E-mail	kikaku@city.otaru.lg.jp		
ＵＲＬ	http://www.city.otaru.lg.jp/sisei_tokei/otaru/ijyu/		
空き家全般に関する相談			
小樽市建設部建築指導課		電　話	0134-32-4111（内 430）
E-mail	akiya@city.otaru.lg.jp		
ＵＲＬ	https://www.city.otaru.lg.jp/jigyo/kensetu/kentikushidou/akiya/		
空き家・空き地バンクに関する相談			
小樽市建設部まちづくり推進課		電　話	0134-32-4111（内 473）
E-mail	matizukuri@city.otaru.lg.jp		
ＵＲＬ	http://www.city.otaru.lg.jp/simin/sumai/akiya/		

□住宅に関する支援

小樽市住宅エコリフォーム助成事業			
小樽市建設部建築住宅課		電　話	0134-32-4111（内 364）
ＵＲＬ	http://www.city.otaru.lg.jp/simin/sumai/sumai/jutaku_sisaku/		
住宅の断熱改修　省エネ型機器の設置（所定の条件を満たすことが必要です。）			
小樽市バリアフリー等住宅改造資金融資事業			
小樽市建設部建築住宅課		電　話	0134-32-4111（内 354）
ＵＲＬ	http://www.city.otaru.lg.jp/simin/sumai/sumai/jutaku_sisaku/		
住宅改修　利子補給　バリアフリー改修（所定の条件を満たすことが必要です。）			
小樽市木造住宅耐震改修促進事業			
小樽市建設部建築指導課		電　話	0134-32-4111（内 431）
ＵＲＬ	https://www.city.otaru.lg.jp/jigyo/kensetu/kentikushidou/taisin/		
耐震診断に係る費用の一部を助成			

□起業に関する支援

商業起業者定住促進事業			
商店街の空き店舗を活用して卸売･小売業、飲食業、サービス業の起業をお考えの方			
小樽市産業港湾部商業労政課		電　話	0134-32-4111（内 265）
対　象	商店街等の空き店舗における商業起業者（市外からの移住者を含む）		
内　容	経営安定化と本市の定住促進を目的に店舗家賃等の一部を助成 ① 起業に資すると認められる研修費用の２／３（上限３万円） ② 家賃の２／３、期間：１年間（上限月額５万円）		

創業支援事業			
市内に事務所等を設置し、新たに小売業、サービス業ほかの企業をお考えのかた			
小樽市産業港湾部産業振興課		電　話	0134-32-4111 （内263・264）
対　象	市内で新たに創業する方で、本市の認定特定創業支援事業（小樽商工会議所のワンストップ相談窓口又は小樽商人塾）による支援を受けているほか、しない金融機関の融資を利用するなどの対象要件を満たす方		
内　容	創業に要する経費の一部を補助 ① 事務所等家賃の１／２、期間：６カ月間（上限月額５万円） ② 内外装工事費の１／２（上限100万円）※施工は市内業者限定 ③ 創業初期の融資返済利子12回分（上限10万円） ※家賃補助については、商業起業者定住促進事業との併用不可		

□子育てに関する支援

親子の交流の場や子育てのアドバイスを求めている方 〈地域子育て支援センター〉			
小樽市福祉部子育て支援課		電　話	0134-32-4111（内398）
対　象	子育て中の親子（就学前の子どもと保護者）		
内　容	・市内３カ所に地域子育て支援センターを開設し、親子の交流の場、仲間づくりの場を提供 ・センター開放や子育て講座のほか、保育士による育児相談等、様々な子育て支援事業を実施		

子どもの預かりなどの援助が必要な方 〈ファミリーサポートセンター〉			
小樽市福祉部子育て支援課		電　話	0134-32-4111（内398）
対　象	０歳から小学６年生までの子どもがいる保護者		
内　容	・育児の援助を受けたい人（依頼会員）と育児の援助を行いたい人（提供会員）の組織による育児の援助活動［保育所や幼稚園等への送迎や預かりなど］ ・事前の会員登録が必要		

家庭教育の支援や子育て仲間をお求めの方　〈小樽わくわく共育ネットワーク〉			
小樽市教育委員会教育部生涯学習課		電　話	0134-32-4111（内531）
対　象	主に子育て中の保護者や児童生徒		
内　容	・子どもたちが健康でイキイキと自分らしく学び、親子が共に成長して暮らしていける街にすることを目的に活動する、家庭教育支援事業の一組織 ・「子育ては街育て」をモットーに情報発信やイベントの企画運営 ・生涯学習プラザ「レピオ」内にキッズスペースを常設し、家庭教育相談にも対応		

小学６年生までのお子様がいらっしゃる方　〈こども医療費助成制度〉			
小樽市医療保険部後期高齢・福祉医療課		電　話	0134-32-4111（内311）
対　象	３歳未満	負担額	初診時一部負担金のみ（医科580円、歯科510円）
	３歳から小６までの市民税非課税世帯		
	３歳から小６までに市民税課税世帯		医療費の１割（上限あり）
（所得制限あり）※平成28年８月から小学生の医療費助成を入院外に拡大			

創 小樽市・小樽商工会議所・市内金融機関による業支援サポート連携事業

1.目　的

小樽市や市内金融機関等とともに、地域における創業支援の分野にかかる連携を円滑にすることにより、創業計画・融資のワンストップ対応を促進し、創業希望者の事務負担等を軽減、各機関のもつ情報・ノウハウを共有化することにより、きめ細かな支援を行い、地域における事業所の増加・地域の活性化を図ることを目的とする。

2.名　称

小樽創業サポート支援

3.連絡窓口

- 小　　樽　　市 …… 産業港湾部
- 小樽商工会議所 …… 相談課
- 北海道信用保証協会 …… 小樽支店
- 市内金融機関（日本政策金融公庫小樽支店、北洋銀行小樽中央支店、北海道銀行小樽支店、北陸銀行小樽支店、小樽信用金庫本店、北海信用金庫小樽支店以上６機関）

4.スキーム概要

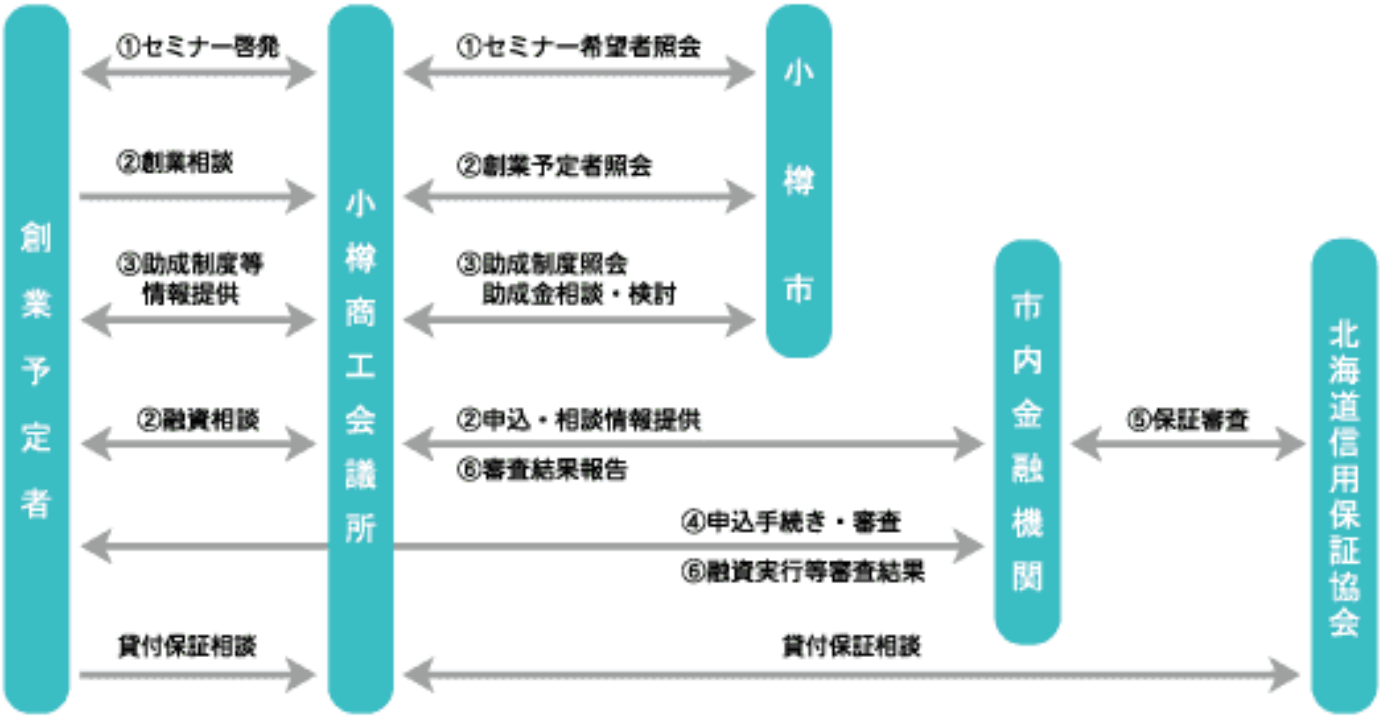
⑴小樽市では、市内で創業希望者等に対し、経営についての基本的なノウハウを学ぶセミナー等を開催するほか、小樽市助成制度の活用検討等を行う。

⑵小樽商工会議所では創業希望者等のワンストップ相談窓口として、小樽市内での創業希望者等に対して、創業計画策定段階から関与することにより、創業計画書・資金計画書の作成方法や開業に関する諸手続き、金融斡旋、専門家の派遣等伴走型の支援を行う。

⑶北海道信用保証協会では、創業者への融資・保証に関する積極的な相談・指導、北海道融資制度にかかる貸付の積極的なＰＲ等を行う。

⑷市内金融機関にあっては、小樽商工会議所からの金融斡旋等により創業希望者等への融資相談を行うほか、認定支援機関として国・道の施策を検討・実行に係る支援を行う。

5. 事務フロー



6. 守 秘 義 務

本スキームにおいて知り得た情報については、業務連携上必要な範囲においてのみ使用し、各当事者の承諾なく第三者に開示または漏えいしてはならない。

7. 情報の取り扱い

各当事者から提供された情報に関しての返還請求があった場合は速やかに返還または相手方の指示に従って処分する。

8. その他

半期に１度程度、担当者同士の情報交換を実施する。

小樽生活基本情報

まち育てふれあいトーク

小樽市では「まち育てふれあいトーク」として、市政についての疑問や暮らしに役立つ知識などについて、市の職員が希望の場所に直接伺ってお話ししています。

平成28年度版メニュー<全83メニュー>

生涯学習

■**小樽の文学あれこれ**
小林多喜二・伊藤整など、ゆかりの作家・文学について紹介します

■**図書館は面白い！役に立つ！**
～図書館利用講座～
30万冊を超える本や雑誌を所蔵する図書館の暮らしに役立つ上手な使い方についてお話しします ……等

市民福祉

■**小樽の国保**
国民健康保険制度のしくみ・財政状況・保険料などについて

■**丸わかり！**
介護保険サービスと高齢者福祉サービス
介護保険のしくみとサービスの受け方・高齢者福祉サービスについて説明します ……等

生活基盤

■**水道のしくみと役割**
水道の水ができるまで、家庭の給水栓、安全でおいしい水、水道料金について

■**小樽市の防災体制とわが家の防災対策**
各種災害の危険から自分たちの安全をどうやって守っていくか…
「地域防災計画」に基づいて、分かりやすく解説します ……等

産業振興

■**小樽の観光について**
・小樽の観光の現状や課題、過去の取組などを紹介します
・小樽市観光基本計画について説明します

■**小樽の中小企業支援について**
小樽市の中小企業向け融資・助成制度について説明します ……等

環境保全

■**小樽市のごみ処理について**
北しりべし広域クリーンセンターの「焼却施設」と「リサイクルプラザ」をご案内します

■**小樽市の景観行政について**
小樽市の景観行政と歴史的建造物について説明します ……等

その他

■**あなたの暮らしと市民税**
市民税がどのように決定されるのか、所得税との関連などについて

■**マイナンバー制度について**
マイナンバー制度の概要について説明します ……等

お問い合わせ先　広報広聴課　0134-32-4111（内線394）

小樽の自然災害

地　震

小樽は、プレート境界の動きがゆっくりした日本海側にあるため、プレート境界の動きが活発な太平洋側に比べ、地震が少なく、小樽に主な活断層は確認されていません。

小樽に近い活断層として、札幌の東部に「石狩低地東縁断層」が確認されていますが、小樽や札幌の周辺に未発見の活断層があることは否定できません。

■かつて、小樽で確認された主な地震

2003(平成15)年９月26日	震度４	十勝沖地震（M8.0）
1993(平成５)年７月12日	震度５	北海道南西沖地震（M7.8）
1960(昭和35)年４月９日	震度３が２回	小樽沖が震源

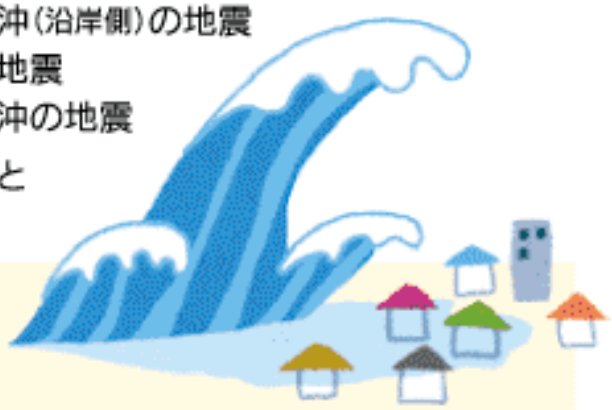
津　波

地震と連動して小樽は津波被害も多くはありません。
ただ、これまでに想定されていない津波被害がある可能性は残っています。

■小樽で現在想定されている津波は、

１．北海道北西沖（沖側）の地震　　２．北海道北西沖（沿岸側）の地震
３．留萌沖の地震　　４．神威岬沖の地震
５．北海道南西沖の地震　　６．青森県西方沖の地震

そのうち、「１．２．３」が小樽市に影響が大きいと想定されています。

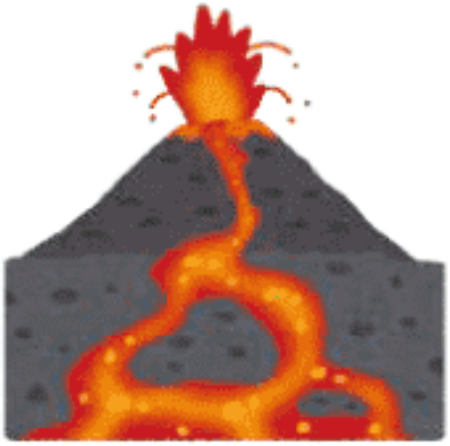


＜津波ハザードマップ＞
https://www.city.otaru.lg.jp/simin/anzen/bosai/hazard_map.html

■かつて、小樽で確認された主な津波

1993(平成５)年７月12日	小樽港で津波0.8m	北海道南西沖地震（M7.8）
1940(昭和15)年８月２日	津波1.5m	積丹半島沖地震（M7.5）
1792(寛政４)年６月13日		忍路で5人溺死、積丹半島沖地震

火　山



小樽の山は、数百万年前よりも昔に活動していた火山なので、現在活動的な火山はありません。

小樽に近い常時観測・監視火山は、有珠山、倶多楽、樽前山です。

小樽に近い他の活火山は、羊蹄山、ニセコ、恵庭岳です。

これらの火山は、近くても40km 程離れているので、噴火による直接的な影響は小さいと想定されます。

火山による大きな災害は、小樽ではこれまでに確認されていません。

台風・水害

小樽の河川は小規模なので、大規模な洪水は想定されていません。

ただ、河川勾配が急なので、過去には幾度となく水害を受けています。

例えば、

1962(昭和37)年８月２～４日	降雨量267mm
台風９号による大雨。勝納川が氾濫。死者６名。	

＜星置川洪水ハザードマップ＞
http://www.city.otaru.lg.jp/simin/anzen/bosai/hosioki_hazard_map.html

台風・風害

小樽は、日本の北部で、日本海側にあるので台風の直接的な被害を受ける頻度が少ないと言われています。ただし、進路により影響を受けたことはあります。

例えば、

2004(平成16)年９月８日
台風18号
観測史上最高の瞬間最大風速44.2m/s

土砂災害

小樽は「急傾斜地」が多いため、市内でも崖崩れ等の危険性のある地域がたくさん点在します。

大雨や融雪による土砂災害の可能性が高いといえます。

例えば、

2010(平成22)年８月７日	大雨により花園で崖崩れ
2007(平成19)年４月30日	融雪により朝里川温泉スキー場で土石流

＜土砂災害ハザードマップ＞
https://www.city.otaru.lg.jp/simin/anzen/bosai/dosyasaigai_hazard_map.html

暴風雪

小樽は全国的に見て雪の多い地域です。大雪により交通障害が多く発生します。

例えば、

1996(平成８)年１月８日
大雪で道路と鉄道の交通は麻痺状態。 観測史上最高の降雪84cm。

小樽(後志) 地産地消歳時記 【山の幸】

■野菜

品　名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
トマト												
ミニトマト												
ジャガイモ												
人参												
かぼちゃ												
大根												
グリーンアスパラガス												
きぬさや												
えんどう												
さやいんげん												
ヤーコン												
ブロッコリー												
スイートコーン												
長いも												
ごぼう												
ゆりね												
タマネギ												
ピーマン												
水　稲												

■果物

品　名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
りんご												
さくらんぼ												
ブルーベリー												
プルーン												
ぶどう												
メロン												
ナシ												
スイカ												

グリーンアスパラガス

スイートコーン

メロン

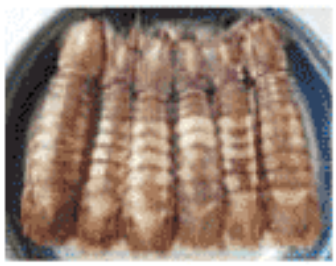
スイカ

小樽(後志) 地産地消歳時記 【海の幸】

品　名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
アブラコ	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
カレイ	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
アサリ	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■
ホッキガイ	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
アワビ	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ガゼ	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■
アンコウ			■	■				■	■	■	■	
キンキ	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
スケソ	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■
チカ	■	■	■	■					■	■	■	■
ニシン										■	■	■
ベニズワイガニ	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ホタテ	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ホッケ	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
アマエビ	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ゴッコ	■									■	■	■
タラ	■	■					■		■	■	■	■
タコ			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ナマコ	■		■	■	■	■					■	■
ヤリイカ	■	■	■	■								■
シャコ	■	■	■	■			■	■	■			
サケ	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
カスベ	■	■	■	■								
ハタハタ		■	■	■		■	■	■				
スルメイカ			■	■	■	■	■	■	■			
イワシ			■	■	■				■	■		
ホヤ			■	■	■							
ホンマグロ				■	■	■	■	■	■	■		
サンマ				■	■	■	■	■				
ハッカク				■	■	■	■	■				

ニシン

ホタテ


シャコ

スルメイカ

冬の過ごし方（除排雪・服装・自家用車）

除排雪

12月～3月が積雪期間です。国道、道道、市道は各公共機関が一定の降雪・積雪を除排雪しますが、私道や自宅の玄関まわりや車庫まわりなど、プライベートスペースの場合は、自己負担で除排雪することは生活上欠かせないマナーです。

雪捨て場は公に迷惑のかからない範囲の自宅周辺とするのが慣例で、ご自身で行うことが不可能な場合は専門業者もしくは近所の知人に有料で依頼する場合もあります。

専門業者の目途	除雪６～８万円 / 1シーズン
	排雪10万円前後 / 1シーズン
除雪器具の目途	スコップ1,500円前後
	ダンプ　3,500円前後

服　装

冬期間の雪国では、屋内は暖房機が作動し温かい場合が多いのですが、いったん外出する際は気温が零下であると同時に吹雪きが日常茶飯事です。防水防寒の服装や、帽子・手袋で地肌を守り、ブーツや長靴などで歩行することをお勧めします。

自家用車

降雪期の外出で最も気を遣うのが自動車運転と自動車管理です。雪道によるスリップ、積雪で狭道による渋滞、駐車場への出し入れなど、通常の何倍もの注意が欠かせません。どこへ出掛けるにも、最低限夏場の1.5倍の時間を想定してください。

また駐車が野外の場合は、すぐに車に雪が積もり、いちいちブラシで雪払いをする手間がかかります。冷静かつ注意を怠らないカーライフをする必要があります。

5月は夏タイヤに、11月は冬タイヤに履き替え、同時に夏ワイパー、冬ワイパーの取り替えも必要です。また冬期は雪はけブラシや、埋まった際にタイヤにかませるスノーヘルパーなどを常備してください。ご自宅などに交換タイヤの収納スペースも必要です。常備品と一緒に保管するのがベストです。

家庭ごみ分別とリサイクル（ごみ有料化とリサイクル）

ゴミ分別は「燃やすごみ」用袋、「燃えないごみ」用袋の２種類に分別し、１枚10円～80円で地元スーパーや薬局、コンビニなどで市販されています。また「プラ類」「かん等」「紙類」などの資源物は透明または半透明の袋に入れて、地区ごとに指定された曜日に収集されています。大型ごみや家電等の廃棄は買換店もしくは専門の業者にご相談ください。小樽市ではお住まいの地域の収集カレンダーを配布しています。

小樽市生活環境部廃棄物対策課

小樽市花園2丁目12番1号
電話 0134-32-4111（内323）

奥沢水源地　階段式溢流路（いつりゅうろ）

上下水道（水道料金・下水道使用料）

恵まれた自然環境が残り、汚染源がない小樽の水道水は、清涼感があり、口当たりも良く美味しいと言われています。また、「小樽の水」として市販もされています。

小樽市の水道料金（２ヶ月分）は、家事用で、
0 ～ 20㎥ 2,540円（基本料金）
21 ～ 40㎥ 185円×水量－1,160円
41㎥以上190円×水量－1,360円となります。
また、下水道使用料（２ヶ月分）は、家事用で、
0 ～ 20㎥ 2,440円（基本料金）
21 ～ 40㎥ 128円×水量－120円
41㎥以上134円×水量－360円となります。
※上記の額に消費税等額を加えたものが料金および使用料となります。

電気料金目安

ちなみに北海道電力の電気使用量は260kWh 7,602円です。通常２人暮らしの一軒家では500～700kWh といわれています。オール電化などの場合は割引されます。

イベント・祭り

イベント

春
3月～5月

・おたる雛めぐり
・おたる春祭り

おたる雛めぐり

夏
6月～8月

・小樽祝津にしん群来祭り
・おたる潮まつり
・小樽がらす市
・夏の花火大会

おたる潮まつり

小樽産しゃこ祭

小樽雪あかりの路

秋
9月～11月

・小樽産しゃこ祭
・kawaiiティーパーティー
・小樽硝子アート展

冬
12月～2月

・小樽ゆき物語
・小樽雪あかりの路
・冬の小樽がらす市

小樽がらす市

kawaiiティーパーティー

小樽ゆき物語

祭り

北海道はアイヌの人々以外は全て移民です。移民の交通機関は船ですので、北海道では函館港と小樽港に誰もが上陸しました。移住した人々はそれぞれ出身地の文化も同時に持ち込みますので、こういう背景に神社創設や祭典開催の由来があります。ですから小樽は全国からの多民俗地域ですので、神社祭が実に多く開催されています。

平成28年小樽市内のお祭り日程

祭典名	日　程	開催場所	問合せ先
招　魂　祭	５月15日(日)	花園5丁目(小樽公園)	0134-22-1704
不　動　院	５月27日(金)、28日(土)	奥沢3丁目17-10	0134-22-7839
潮見ヶ岡神社	６月４日(土)、５日(日)	若竹町1-10	0134-22-8230
張碓稲荷神社	６月４日(土)、５日(日)	春香町291	0134-22-7984(天満宮)
小樽稲荷神社	６月10日(金)～12日(日)	末広町38-1	0134-22-591
水　天　宮	６月14日(火)～16日(木)	相生町3-1	0134-22-3495
蘭島神社	６月18日(土)、19日(日)	蘭島1丁目3-26	0134-26-1383(塩谷神社)
龍宮神社	６月20日(月)～22日(水)	稲穂3丁目2-11	0134-22-4268
恵美須神社	６月24日(金)～26日(日)	祝津3丁目161	0134-34-3480
豊足神社	６月25日(土)、26日(日)	銭函2丁目9-10	0134-62-2847
熊碓神社	７月２日(土)、３日(日)	桜5丁目26-10	0134-22-7984(天満宮)
忍路神社	７月２日(土)、３日(日)	忍路1丁目416	0134-22-2591(小樽稲荷神社)
高島稲荷神社	７月２日(土)、３日(日)	高島3丁目14-1	0134-22-4318
塩谷神社	７月９日(土)、10日(日)	塩谷2丁目20-20	0134-26-1383
住吉神社	７月14日(木)～16日(土)	住ノ江2丁目5-1	0134-23-0785
天　満　宮	８月24日(水)～26日(金)	天神1丁目9-21	0134-22-7984
朝里神社	８月27日(土)、28日(日)	新光2丁目13-5	0134-22-7984(天満宮)
住吉神社	10月中旬	住ノ江2丁目5-1	0134-23-0785

ＮＰＯ紹介

小樽はNPOの多い街です。1975年に設立された「小樽運河を守る会」を契機として、以後今日に至るまで様々なまちづくり団体が誕生してきました。この系譜をたどると、明治から移民した多くの方々の中で、とくに進取の気性を抱いて積極的に移住した人々の小樽上陸が端緒と考えられます。いわゆる「パイオニア･スピリット」「開拓者魂」です。「過去から解放されて新天地を創造する」人々であったでしょう。これが潜在から目を覚まし、まちづくり運動に姿を変えて顕在してきたようです。

小樽の魅力に目覚め志を持つ個人に仲間が集ってNPOを形成します。1998年12月に施行された日本の特定非営利活動促進法以来、法人化したNPO法人が誕生しますが、自治体の公務を担うと同時に、自ら地域ビジョンを抱いて産官学連携で、地域の自立に向けた運動体になりつつあります。小樽で生きる醍醐味は、まさにNPOにあるといっても過言ではありません。

■法人

NPO法人 北海道鉄道文化保存会			
代　表	飯　田　勝　幸	電　話	0134-61-7777
住　所	北海道小樽市手宮１丁目３番６号　小樽市総合博物館内		
ＵＲＬ	http://www.tetsudo.in/		
NPO法人 小樽ソーシャルネットワーク			
代　表	福　島　正　紘	電　話	0134-29-1003
住　所	北海道小樽市若松１丁目７番７号		
ＵＲＬ	http://www.otaru-sn.net/		
NPO法人 小樽ひばり保育園			
代　表	中　島　　修	電　話	0134-27-0709
住　所	北海道小樽市長橋２丁目17番12号		
ＵＲＬ	http://www.otaru-hibari.com/		
NPO法人 ロシア極東研			
代　表	佐々木　　洋	電　話	
住　所	北海道小樽市銭函２丁目14番		
ＵＲＬ	http://www.ne.jp/asahi/kyokutouken/sono2/		
NPO法人 ワインクラスター北海道			
代　表	阿　部　眞　久	電　話	011-633-6677
住　所	北海道小樽市山田町１番242号　朝日プラザハーバービュー小樽 706号		
ＵＲＬ	http://winecluster.org/		

NPO法人 おたる祝津たなげ会			
代　表	鈴　木　忠　昭	電　話	
住　所	北海道小樽市祝津３丁目303番地		
ＵＲＬ	http://tanage.jp/		
NPO法人 Visit Otaru Project			
代　表	高　橋　　祐	電　話	
住　所	北海道小樽市入船４丁目９番１号　旧小樽短大東棟		
ＵＲＬ	http://suharatei.mods.jp/visit/index.htm		
NPO法人 ステップアップおたる			
代　表	新　川　英　夫	電　話	0134-27-2861
住　所	北海道小樽市長橋２丁目10番12号		
ＵＲＬ	http://step-up-otaru.jimdo.com/		
NPO法人 歴史文化研究所			
代　表	井　上　一　郎	電　話	0134-32-8818
住　所	北海道小樽市相生町８番13号		
ＵＲＬ	http://otarugaku.jp		
NPO法人 おたる A to Z			
代　表	髙　田　　哲	電　話	0134-51-2311
住　所	北海道小樽市朝里３丁目８番14号		
ＵＲＬ	http://otaruatoz.web.fc2.com/		
NPO法人 小樽・朝里のまちづくりの会			
代　表	菊　地　芳　郎	電　話	
住　所	北海道小樽市新光４丁目１番16号		
ＵＲＬ	http://asari.cc/		
NPO法人 遺言相続支援センター			
代　表	秦　　健一郎	電　話	
住　所	北海道小樽市色内１丁目８番18号		
ＵＲＬ	http://www.npoti.net		
NPO法人 しりべし圏域総合支援センター			
代　表	岸　本　芳　朗	電　話	0134-51-5515
住　所	北海道小樽市新光１丁目３番13号		
ＵＲＬ	http://www.shieibeshi.jp/		
NPO法人 小樽民家再生プロジェクト			
代　表	石　井　伸　和	電　話	080-3156-8484
住　所	北海道小樽市入船４丁目25番８号		
ＵＲＬ	http://www.otaru-minka.org/		

NPO法人 かもめ保育園			
代　表	町　田　幸　作	電　話	0134-62-1284
住　所	北海道小樽市張碓町550-5		
ＵＲＬ	http://www.npo-kagome.org		
NPO法人 北海道メディカルサポート			
代　表	岸　川　和　弘	電　話	070-5601-3942
住　所	北海道小樽市望洋台２丁目３番12号		
NPO法人 自然教育促進会			
代　表	安　原　政　志	電　話	0134-51-5666
住　所	北海道小樽市望洋台２丁目14番１号		
NPO法人 Otaru Branding & Marketing（OBM）			
代　表	伊　藤　正　明	電　話	0134-24-2161
住　所	北海道小樽市稲穂２丁目22番１号　経済センター6F		
NPO法人 ゆらぎの里づくり協会			
代　表	米　花　正　裕	電　話	0134-52-1185
住　所	北海道小樽市朝里川温泉２丁目687		
ＵＲＬ	http://www.winkel.co.jp/npo		
NPO法人 小樽の灯			
代　表	佐　藤　　勤	電　話	
住　所	北海道小樽市色内１丁目11番５号		
NPO法人 北海道職人義塾大學校（小樽職人の会）			
代　表	佐々木　　徹	電　話	0134-64-1003
住　所	北海道小樽市稲穂３丁目16番16号（松田印判店内）		
ＵＲＬ	http://otaruskill.net/		
NPO法人 日本ダンスうんどう協会			
代　表	小林　英夫	電　話	
住　所	北海道小樽市有幌町３番10号		

NPO法人小樽民家再生プロジェクト

NPO法人小樽・朝里のまちづくりの会

NPO法人ワインクラスター北海道

NPO法人 北海道健康スポーツ振興会			
代　表	大場　隆志	電　話	0134-24-0202
住　所	北海道小樽市潮見台１丁目５番29号		
NPO法人 絵本･児童文学研究センター			
代　表	工藤　左千夫	電　話	0134-27-0513
住　所	北海道小樽市色内１丁目15番13号　大同ビル４F		
ＵＲＬ	http://www.ehon-ej.com/		
NPO法人 小樽体育協会			
代　表	碓井　定義	電　話	0134-33-3710
住　所	北海道小樽市入船３丁目８番23号		
NPO法人 小樽トラスト協議会			
代　表	石井　正巳	電　話	0134-27-3300
住　所	北海道小樽市花園４丁目１番１号 おたる無尽ビル		
NPO法人 BS小樽			
代　表	秦　　健一郎	電　話	0134-22-1211
住　所	小樽市緑１丁目４番26号　商大通り一島　２階		
ＵＲＬ	http://npo-shimarisu.com/bs%E5%B0%8F%E6%A8%BD/		
一般社団法人 北海道中小企業家同友会 しりべし・小樽支部			
支部長	上参郷　光　祐	電　話	0134-25-9191
住　所	北海道小樽市色内1丁目9番6号		
ＵＲＬ	http://www.hokkaido.doyu.jp/shiri-otaru/		

■非法人

小樽ワークス	
ＵＲＬ	http://www.otaru-works.com/
小樽市民会議	
小樽青年会議所	
ＵＲＬ	http://www.otarujc.or.jp/
小樽再生フォーラム	
ＵＲＬ	http://otaru-saiseifrm.jimdo.com/
松前神楽保存小樽後援会	
ＵＲＬ	http://www.joyful.gr.jp/~kagura/gb.old/data/1998/19981011000049.html
小樽職人の会	
ＵＲＬ	http://otaruskill.net/

小樽雪あかりの路実行委員会	
ＵＲＬ	http://yukiakarinomichi.org/
音座なまらいぶ小樽	
ＵＲＬ	http://onza-namalive.com/
小樽観光ガイドクラブ	
小樽おもてなしボランティアの会	
小樽教育旅行誘致促進実行委員会	
ＵＲＬ	http://www.otaru-kyouikuryokou.com/
小樽観光大学校	
ＵＲＬ	https://www.otaru-kd.com/
北海道千年の森プロジェクト	
ＵＲＬ	http://sennenno-mori.com/
旧岡崎家能舞台を生かす会	
ＵＲＬ	http://kagamiita.cocolog-nifty.com/
小樽伝統文化の会	
小樽浅草橋オールデイズナイト	
ＵＲＬ	http://music.geocities.jp/monpetit2686/asakusabasihome.html
小樽がらす市	
ＵＲＬ	https://twitter.com/glass_market
北海道ジャズ	
ＵＲＬ	http://hokkaidou-jazz.com/
小樽ＡＫＹプロジェクト	
ＵＲＬ	http://otaruaky48.sapolog.com/

小樽雪あかりの路実行委員会

音座なまらいぶ小樽

小樽AKYプロジェクト

起業をご検討の方へ

小樽に移住し起業する場合には、これまでの地域で関わったビジネスを小樽でも継続して行う、これまでの地域で関わったビジネスを辞めて小樽で新たなビジネスを行う、といった２つのパターンがあります。ここでは後者すなわち新たなビジネスを起業する場合の有効な情報を提供します。

客　層

小樽市民と観光客の２通りが想定されます。

小樽市民の人口は2016年７月現在で121,589人ですが、これまで毎年約2000人減少しています。このうち0～14歳9.22％、15～64歳53.75％、65歳以上が約38%を形成し、15～64歳のいわゆる生産年齢層が約65,700人で、この層の減少率が毎年高くなっています。そして12月～３月の４ヶ月間は小樽市民の外出頻度は急減します。したがってこういった実数をしっかり把握した上でのビジネス選びやビジネスモデル構築をする必要があります。

一方、観光客は平成26年には744万人、宿泊延べ数78万人で多少の増減はありますが、今後は増加する傾向にあります。これを１日に換算すると入込は２万人/日、宿泊は２千人/日となり、したがって観光客が歩く拠点に観光客対象のビジネスであれば大いに有望です。しかし12月～３月の４ヶ月間は観光客動向も大きく減少しますので対策が必要です。

もちろん小樽市民を対象とするビジネスモデルも、規模や内容次第では有望です。特に高齢化率約38%市場は無視できません。

欲張って想定すると、市民で原価を稼ぎ、観光客で利益を上げるとも理屈では考えられますが、現実は市民が行く所と観光客が行く所は大きく異なっています。いろいろ現実的な手法を構築して、市民にも観光客にも喜ばれるビジネスを独自に形成していくことが求められます。

業　種

小樽では水産加工業、金属加工業、繊維工業が戦後の基幹産業でしたが、人口減少と同時に縮小傾向にあり、平成に入ってから観光業が基幹産業になっています。ちなみにここ数年の統計では、小樽の総生産額約3,600億円の３分の１に当たる約1,200億円が観光産業が稼いでいます。したがってここでは追い風の観光業について記します。

観光業の中でこれまでの成功事例は、寿司をはじめとした飲食業に加え、硝子やオルゴールなどの物販業があげられます。飲食業では独自の寿司や独自のラーメンなど、既存料理のアレンジ(または創作料理)が有望です。特に観光客は「豊かな異空間での時間消費」のニーズを強く持つことから、古民家を改築したカフェやレストランも有望です。

また物販業やサービス業では硝子、オルゴールをはじめ、様々な店舗展開がありますが、起業率が高いと同時に淘汰率もまた高いといえます。もちろん、とってつけたような俄商法では時間の問題といってもいいでしょう。「何故今小樽でこれを」といった根と展望なくして維持･発展は見込めません。

一方で「民泊」など新たなタイプの宿泊業、「交流」などをテーマとしたサービス業も希薄ですので、その分有望といえるでしょう。たとえば小樽に宿泊する観光客は、夕食後楽しむ拠点がありませんので、「夜間の交流や飲食」をテーマとしたビジネスモデルはアイデア次第では有望です。

施　設

小樽では現在約1,000棟もの歴史的建造物(古民家・石蔵・倉庫・事務所など)があり、このうち約200棟が観光施設として新たに再利用されています。これら歴史的建造物再利用の景観が小樽観光の目玉になっているほどです。とくに外国人観光客の多くが建物に魅力を感じて入館して売り物を知るといったインセンティブの順になっています。

NPO法人小樽民家再生プロジェクトのホームページには購入･賃貸可能な物件が掲載されていますが､そのほかにも多くの可能性が眠っています｡市内の不動産屋さんに託す方法もありますが、古い建物は不動産価値がなく取り上げられるケースは多くはありません｡ご自身で相応しい物件を見つけるための長期滞在をお勧めします。土地勘をつかみ施設希望物件探しから始めることが成功への道といえます｡当法人でも逐次ご相談を承っております。

大正硝子館 本館

染色アトリエ Kazu

おたる硝璃工房

お試し移住

長期滞在宿泊施設案内

■小樽ちょっと暮らし（宿泊体験施設）

施　設　名	住　所	問合せ先
エムズフラッツ	長期滞在型マンション	㈱三ツ江商事
	花園２丁目８番17号	0134-22-6239
シニアライフマンション春香	長期滞在型マンション	㈱太郎
	桂岡町４番３号	0134-54-1005
おたるないバックパッカーズ ホテルス杜の樹	ロングステイ小樽体験	おたるないバックパッカーズ ホテルス杜の樹
	相生町４番15号	0134-23-2175
ウィンケルビレッジ（貸別荘＆キャンプ場）	ロングステイ	㈱ウィンケル
	朝里川温泉２丁目686	0134-52-1185
小樽朝里クラッセホテル	ロングステイ	小樽朝里クラッセホテル
	朝里川温泉２丁目676	0134-52-3800
ホテルヴィブラントオタル	ロングステイ	ホテルヴィブラントオタル
	色内１丁目３番１号	0134-31-3939
ドーミーイン PREMIUM 小樽	ロングステイ	ドーミーイン PREMIUM 小樽
	稲穂３丁目９番１号	0134-21-5489
グランドパーク小樽	ロングステイ	グランドパーク小樽
	築港11番３号	0134-21-3111

■小樽の民泊リスト

施　設　名	住　所	問合せ先
北ホテル 小樽迎賓館	塩谷１丁目27番12号	0134-28-2333
旅人の家 舎とまや	末広町19番10号	0134-31-1454
小樽ゲストハウス ハーベスト	長橋１丁目２番３号	0134-27-9736
小樽駅前ゲストハウス Ito	稲穂２丁目３番13号　かもめビル３F	0134-61-1569

先輩移住者メッセージ<古民家再利用者>

鈴　木　恵　祐

麺処 龍仁　店主
<ラーメン店>

僕は昭和51年埼玉生まれですが、学生時代にアルバイトに従事していたラーメン店に就職。７年間の勤務後、建設会社に転職した際に北海道の石狩に出張し、石狩営業所勤務を決断し小樽居住。しかし所得への不安から、小樽のラーメン店で６年修行し、その間に小樽生まれの女性と結婚し、平成24年開店の「麺処 龍仁」に勤務。平成25年12月に店主撤退に伴い独立継承を決断しました。

小樽は歴史的に全国からの移民で形成されてきましたが、同郷をよしみとした仲間づくりや採用が数多くあったと聞きます。でもそこに派閥を設けて、よそ者を差別するのはオカドちがいだと思っています。志や趣味への夢などの未来に共通項をみつけ、建設的な人間関係を築きたいですね。

この石蔵はとてもオシャレで気に入っています。明治後期に質屋の蔵として創建され、平成14年に隣の龍宮神社さんが所有し、札幌軟石の石蔵が２棟並ぶ美しい外観で、仕事ができることを誇りに思っています。

外観

離れ２階座敷

建物履歴

明治後期	平野質店
平成14年	龍宮神社所有 土屋ホームに賃貸
平成24年	龍仁に賃貸
平成25年	鈴木氏　龍仁を継承

〒047-0032　小樽市稲穂4丁目11番2号
☎ 0134-21-2480

杉　本　英　樹

Hands on Toy's Kinderlie　店長
<ドイツ製玩具店>

外観

夢いっぱいの店内

私は関西出身です。若い頃にドイツで暮らした経験があり「遠く離れた土地」に住みたいという気持ちを抱えて北海道にやってきたような気がします。来てみると北海道はドイツとよく似た気候風土でした。そして何かドイツにつながる仕事を、と思案しているうちにドイツ製玩具の店を小樽で開くことになりました。

当初はショッピングモール内での営業で、５年ほどして店を引っ越すこととなりました。かなりの物件を目にしたなかで最終的にこの建物に出会いましたが、最初見た瞬間は暗くて狭くて古いという印象で、「これは無理だ」と感じました。でも小樽観光の中心地に隣接して「ちょっと離れた」距離感が気に入り、ちょっとずつ手直ししながら今で７年目です。

今では「お店の雰囲気にピッタリですね」と言われるようになりました。ショッピングモール時代に較べると、冬は寒いし夏は暑い手のかかる物件ではありますが、だからこそ愛着も沸いてくるのは旧い建物ならではですね。

建物履歴

明治後期～大正期　漁網保管蔵として創建
昭和後期　木調アート＆カフェ 匠伽藍開設
平成16年～小樽オルゴール堂 体験工房・倉庫
平成19年　キンダーリープ開店(移転OPEN)

〒047-0015 小樽市住吉町４番４号
☎ 0134-24-1031
E-mail：2003@kinderlieb.info

小　林　恵里子

合同会社 健康応援社　代表
＜健康体操・食堂・貸しスペース＞

この建物は、大正４年に『質屋』として建てられたもので、今年で100年を迎えます。

２年前に購入したこの建物は、現在、運動・食・心・ボランティア活動の場として活用しています。この古民家は、人が健康になる為の、総合的な居場所だと確信しています。

人は先人の永遠命（ながい）を引き継いで生きています、「今ここに、私は生きている」と言うことをこの建物と暮らして実感し心安らぎます。

私達の生活は、わずか100年という間に、目を見張る進歩をとげましたが、本当に豊かになったでしょうか？

日本人が長年、朝早く起きて薪を切り火を焚く、土をいじり、家中のお掃除をする、一見不便な生活の中にこそ、生きているという豊かさと喜びを感じます。

そしてそれを感じさせてくれるのが、古民家の力だと思う毎日です。

外観

漆喰壁の蔵内部

建物履歴

大正４年　熊谷清治宅
昭和27年　小林質店蔵（小林文作）
昭和39年　小林宅増築（小林仁）
平成26年　健康応援社

〒047-0024 小樽市花園５丁目８番４号
☎＆FAX 0134-61-1342
E-mail：kenko-oen@vanilla.ocn.ne.jp

簑谷　修

有限会社 利尻屋みのや　代表取締役
〈昆布屋を堺町に４店舗(レストラン含む)〉

小樽出世前広場

大正クープ館　昆布ディスプレーの店内

明治時代の石造建築４棟を所有し修理しながら使っております。小樽を大正時代の街並みに戻すべく、新築でも当時のデザインで建てており、小樽再生「街並みは産業、街並みは文化」の構想で運営しています。古い建物というだけで、お客様は興味を持ってくれますので、集客にはとても効果的です。

私は利尻島生まれですが、小樽の街並みが大好きで昆布屋も順調です。小樽は自然災害が極端に少ないのですが、高度経済成長に取り残されたおかげで、結果として古い街並みが残ってくれたことに感謝しています。古い街並みではあるが、清潔な街並みとして守っていきたく思っています。

当社の社員は皆、明るく働き者ばかり。どの店も楽しく気持ちよく買い物ができるとお客様は喜んでくれます。有難いことです。

建物履歴

■**利尻屋みのや不老館(昆布)**
平成15年　利尻屋みのや不老館、昔・生活道具館

■**利尻屋みのや**
たちかま料理惣吉・御宿櫻井(和食・宿泊)
平成19年　秋山愛生舘跡地に小樽出世前広場「たちかま料理惣吉」「御宿櫻井」「小樽歴史館」「バラック長屋」

※長沼マオイ酪農会館
明治20年　札幌郡に
昭和52年　長沼町に移設
平成16年　台風18号で被害
平成17年　解体
平成18年　出世前広場に移築・部材再利用

※寿都の清水薬局／解体された蔵などの部材を移築

■**利尻屋みのや大正クープ館(昆布)**
昭和戦前　アパート、小樽電装㈱
平成12年　利尻屋みのや大正クープ館

■**利尻屋みのやホラ吹き昆布館(昆布)**
年代不詳　旧小山屋ブラシ製作所(左)と金庫屋(右)
平成３年４月１日
利尻屋みのやホラ吹き昆布館(エイプリルフール)

有限会社 利尻屋みのや
〒047-0027　小樽市堺町４番６号
会社／☎ 0134-25-4060　FAX 0134-25-4061

武　田　賢　一

たけの寿司　店主
＜寿司・和食・創作料理＞

外観

格子窓の和風個室

昭和43年に大阪で生まれた自分が小樽でこうして楽しんで寿司を握っているのは、自分でも不思議です。たまたま小樽の寿司屋の大将と東京で知り合い意気投合。平成４年、東京をあとに来樽、即巽鮨入社。最初は「とんでもない田舎」「なんだこの積雪は」と思いましたが、逆に人と人のつながりの強さにも驚いたことが小樽に腰を据えるキッカケでした。大阪や東京では感じなかったことです。

平成25年に独立して「たけの寿司」を開店。昼間は観光客、夜は地元の宴会客という二刀流で頑張っています。

自分は「大売りではなく小売りの精神」を大事にしたいと志しています。統計やニーズ調査やアクセス調査によって左右する店ではなく、人と人のつながりを大切にすることから「小売り」と名付けられたはずです。地元はもちろん一元の観光客でも態度や服装で概略が分かりますので、個々人の視点に立って対面を心掛けています。

建物履歴

明治35年	中山倉庫石蔵（ヤマジョウ印）
明治40年	中山倉庫は中山合名会社に組織変更
大正初期	中山倉庫自宅として木造増築
昭和初期	料理店に転用、その後深谷電器が社屋として再利用
平成３年	東京本社の養老之瀧株式会社が所有、寿司処多喜二・民宿旅籠に賃貸
平成25年	山本憲治所有、たけの寿司・蝦夷屋に賃貸

〒047-0027　小樽市堺町２番22号
☎ 0134-25-1505
http://www.takenosushi.com
E-mail：takeno_sushi@yahoo.co.jp

稲　葉　圭　計

PRESS CAFE'　オーナー

〈カフェ（カレーライス、パスタ、ほかドリンク）〉

外観

吹き抜けのゆったりとした店内

私は平成元年に札幌で店舗「PRESS CAFE'」を立ち上げましたが、大家失踪で閉店を余儀なくされ放浪生活をしていたときに、小樽の知人にこの場所を紹介され、その魅力にいっぺんに取り憑かれました。運河の原形、歴史的建造物、北前船の倉庫群などのロケーションへの一目惚れです。

平成18年６月に新たにPRESS CAFE'を現在地にオープン。営業成績は少しずつ右肩上がりで推移してきたが、オープン当所は「あれ？！こんな素晴らしいロケーションなのに、なぜ誰もこのへんを歩かないのだろう？」と驚きました。でも札幌の友人達や観光客が訪れるようになり、次第に小樽の人々が来てくれるようになりました。

ほとんど知人がいない小樽への移転でしたが、特に不安もなくむしろ先入観なしで「何も知らないので色々教えてください」というスタンスで臨んだせいか、割と早い段階で地元に馴染んで来れたかも知れません。多分、旅人気分のような感じで(笑)。

よく「小樽の人は保守的だからネ」と言われましたが、10年間そんな印象は持ったことはないので心配ご無用かと思います。

現在も、公私にわたり随分と助けられていますから。

建物履歴

明治28年	遠藤又兵衛倉庫→渋澤倉庫 →ブルーハウス
平成３年	小樽市歴史的建造物指定
平成18年	PRESSCAFE
平成22年	小樽GOLD STONE購入、賃貸
平成23年	小樽市都市景観賞

〒047-0031 小樽市色内3丁目3番21号 旧渋澤倉庫内
☎& FAX 0134-24-8028
http://www.presscafe.biz/
E-mail：presscafe@palette.plala.or.jp

小山内　和　子

Live Cafe & Dining Bar A.LIVE

<カフェ・ライブハウス>

外観

アライブ１階フロア

私は小樽出身小樽在住です。「音楽を通じて人の輪が広がる」そんなお店を持ちたいと、音楽ライブができるお店を探し現在の建物とめぐりあいました。外観、内装共にとても気に入ってしまい、外壁に埋め込まれている硝子店の看板もそのままに、アンティーク調の店内も手を加えることをせず大切に使っています。高い天井は音の反響も良く、ミュージシャンにも喜ばれています。

小樽の古き良き街並みはいつも身近にあり当たり前のものでしたが、昭和初期から多くの人が集ってきたこの建物で、また新たに多くの人が集っていける温かな雰囲気のお店作りをしたいと思います。

アライブ１階　段下がり

建物履歴

昭和２年　近藤商店
平成３年　やまきち近藤商店(カフェ)開店
平成７年　小樽市都市景観賞
平成27年　やまきち近藤商店(カフェ)閉店
平成28年　A.LIVE開店

〒047-0032　小樽市稲穂２丁目13番15号
☎ 0134-64-1706
E-mail：k.osanai66@gmail.com

村　岡　亜佐美

森閑　店主
〈金継工房〉

小樽独特の風景

金継風景

私が小樽で出会った物件は駅から坂道をあがった川沿いに並ぶ昭和８年築の小さな木造２階建ての古民家です。

小樽古民家再生プロジェクトホームページにてその存在を知り神奈川から小樽へ移住を決意しました。

私は古物の販売と陶磁器の修繕を生業としており、古民家は修復後、店舗兼アトリエとして活用予定です。

現在は仕事の合間を見つけては通い、少しずつ修理を行なっています。

移住し半年程ですが、一番嬉しかった事は小樽の古民家を活用する事で地元の方々に良い関心を持って戴けた事、そこからの出会いが切っ掛けで金継教室開催のお話も戴きました。

民家の修復中も通りがかる沢山の方に声をかけて戴いています。

お陰で寂しいという気持ちになる事はなかなかありません。

外観

建物履歴

昭和８年　佐野喜造宅
　　一帯が佐野商店醸造業（醤油）
　　以後、貸し家として維持され
平成28年　森閑

森　閑
〒047-0034　小樽市緑１丁目８番16号
http://www.cimcan.net/
E-mail：from.cimcan@gmail.com

彫り絵のうだつ

岡　本　有美子

vivre sa vie + mi-yyu

＜雑貨＞

外観

店内

私達は明治38年築の建物で2007年から雑貨店をしています。

元々は茶、紙、文房具を商う大きな問屋さんだった場所で、北海道では珍しい瓦屋根に外には卯建と呼ばれる防火壁があり、朝日や鶴、亀の彫刻が施された立派なものです。

店を始める時には長年使われていなかった内部を１ヶ月程ひたすら掃除に通い、真っ黒に積もった埃の下に味のある床の木目やレトロな色の壁、ガラスも磨いてみると少し歪みのある趣のあるものだったので改装はせずにそのまま使っています。

お客様に時間の流れがゆっくり感じると言われる事がありますが古い建物ならではの雰囲気がそう感じさせていると思います。

観光客の多い賑やかな通りとは離れているので、冬の間は厳しい日々も続きますが、近所の子供が学校帰りに店内をチラッと覗いて“ただいま”“お帰り”と声を掛け合う、ほっとする空気が小樽には残っていて…それが私達が小樽で店を続けていられる理由の１つでもあると思います。

建物履歴

明治38年	早川支店として石造倉庫建設→川又商店
昭和61年	小樽市歴史的建造物指定
平成19年	vivre sa vie + mi-yyu開店

〒047-0031 小樽市色内２丁目４番７号
☎ 0134-24-6268

丹　　雅　弘

小樽キャンドル工房
〈キャンドル〉

私は札幌の商業施設でキャンドルを扱う仕事をしていましたが、もっと五感に訴えかけて提案できないだろうかという思いから、小樽を訪ね歩いて、この石蔵の建物に出会いました。

妙見川沿いの佇まいも大きな魅力でした。

後日、この建物の内覧をした際には、当初からの思い描いていた構想が一瞬にして具体化することが出来ました。

また、小樽に活路を求めたもう一つの理由は、新しい取り組みを多方面にそして、リアルに発信できるのは、今までとは異なるマーケットである観光地・小樽だったのです。

「この建物の雰囲気に惹かれて…」
と遠方からいらっしゃるお客様と接する度に此処にして良かったとつくづく感じています。

吹き抜けの店内

製作工房

外観

建物履歴

明治44年　倉庫建設（棟札現存）
昭和62年　海鱗丸開館（レストラン）
平成17年　小樽キャンドル工房開館

〒047-0027　小樽市堺町１番27号
☎ 0134-24-5880
E-mail：t.masahiro318@gmail.com

原　田　正　樹

おたるないバックパッカーズ ホステル杜の樹
＜民泊＞

階段を上るとファンタジー

あずましい交流スペース

仕事柄旅人によく訊かれる。
「小樽はどういう町なの？」と。
よく私がいうのは、
「世界中で夏は海で泳げ、冬はスキーができる。それもちゃんと海水浴場がありスキー場がある。そんな町は他にあるでしょうか？そして、たかだか200年ほどですが、北海道開拓の歴史があり、近代建築の建物が今も残っている。温泉もあるし、寺社仏閣も祭りも多い。海産物も豊富で、野菜や果物もあり、日本酒、ワイン、ビールも作られている。隣町ではウイスキーもね。いってしまえば、なんでもある幕の内弁当のような町です。」と。
「でも、売れ筋の唐揚げ弁当やトンカツ弁当には敵わないけどね」

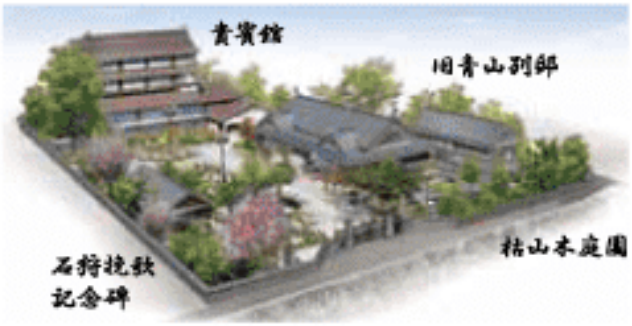
建物履歴

昭和10年頃　創建
平成11年　おたるないバックパッカーズ
ホステル杜の樹 開設

〒047-0028　小樽市相生町４番15号
☎ 0134-23-2175
E-mail：morinoki@gmail.com

佐　藤　美智夫

旧青山別邸貴賓館
<ミュージアム・レストラン・ホール>



貴賓館全体図

外観

八仙人の間

小樽貴賓館旧青山別邸は創建93年を迎えた、にしん御殿(お客様をもてなす為に建てられた大網元の別荘)です。

現在は別邸の開放と共に併設の建物内のレストランで会食、宴会、法事、イベントを行っています。庭園には牡丹、苛薬、あじさい、百合等、季節ごとに色とりどりの花が咲き誇り、多くのお客様に喜ばれています。

「つらいこと」は心ないお客様に小石を投げられ、窓ガラスを割られたり、風雪で瓦や壁が劣化していくことです。ガラスを割られると、現代のガラスを使用し修復するとそこから近代化していくので、大正時代の手作りガラスを探してきて取り替えます。また、壁や屋根は大正時代に使われていた木材や当時の技術、手法で直す等、古いままで保存するよう努めているので材料、技術者を探すのが大変でつらい事です。

「うれしいこと」は、お客様にその様な保存方法を認めてもらい、喜んで感動して頂ける事です。

これからも当時の技術を駆使しながら、国登録有形文化財を末長く維持、保存していきたいと思っております。

建物履歴

大正12年	青山政吉は6年半の歳月をかけ、別邸を建設
昭和63年	佐藤美智夫・佐藤裕子所有
	原形の技術や素材を踏襲し復元
平成元年	「旧青山別邸」開館
平成16年	５階建レストラン新築完成
昭和60年	小樽市歴史的建造物指定
平成22年	有形文化財として国に登録される

〒047-0047　小樽市祝津３番63号
☎ 0134-24-0024　FAX 0134-24-3790
http://www.otaru-kihinkan.jp/
E-mail：info@otaru-kihinkan.jp

NPO法人 小樽民家再生プロジェクト紹介

私たちの運動は、不動産価値のつきにくい物件にリーズナブルとはいえ値が付き所有者も喜び、歴史的建造物がリーズナブルな価格で手に入り移住者も喜び、街並みが美しく維持され、ユニークなビジネスモデルが移植され、人口が増え、観光拠点が増えて街が喜び、新たな仲間ができて私たちもうれしい、そんな運動を推進しています。

マッチング段取り

交流

当法人では定期的にマッチング成功者との交流会を開催しています。移住者にはそれぞれの喜びや悩みがあり、共に喜び、共に解決に向けて智恵と汗を出しています。是非あなたも輪に入って共に新たな小樽づくりをしてみませんか。

紹介

どこでも起業・生活するには、様々な問題やアクシデントに見舞われます。小樽も同様ですが、都度豊富な人脈から適切な方をご紹介させていただきます。

ネットワーク

新しいビジネスモデルは新しい感覚を持つ人々によって育てられます。新たな小樽づくりには新たな感覚の移住者が最も近似値にありますので、あなたは小樽に住み着いた瞬間から、新たな小樽づくりの主役になること請け合いです。

そういうネットワークを共に築いていけたらと願っています。

小樽移住に関するメール相談

NPO法人小樽民家再生プロジェクト
http://www.otaru-minka.org/contact/

小樽

Hokkaido Otaru

さあ「地域と共に生きる」
オルタナティブ・ライフを
小樽で！

移住・起業支援

ハンドブック

NPO法人小樽民家再生プロジェクト
表紙絵：笹原　馨